

学校評価は、経営計画や教育計画に基づいて行われる教育活動がどの程度機能しているのかを評価するためにを行います。その結果から、学校が抱えている課題を明らかにし、学校改善を進め、生徒をよりよく育成するとともに、学校の経営責任・説明責任を果たすためのものです。

学校評価には「自己評価」と「学校関係者評価」があります。「自己評価」は、教職員がアンケート（生徒・保護者・教員を対象に行うアンケート）などの結果を基に行います。「学校関係者評価」は、学校関係者（地域住民やPTA 学級委員）が自己評価の評価項目の内容、評価基準、評価結果等について、総合的に評価するものです。

静岡大学大学院教授であった山崎保寿先生のご指導を受け、経年変化を改革に活かすため、平成27年度からは項目・基準をほぼ同じにして実施してきましたが、令和2年度は、より指導改善につながる形を模索するため質問項目、評価の仕方を大きく変更し次のように致しました。

1. 「自己評価」の回答基準、評価基準は以下のとおりです。

・アンケートの回答は5段階 「よくできた:5 ～ できなかった:1」
で行い、その平均値をもって評価ポイントとする

2. 保護者アンケート項目は、8つの指導項目についてそれぞれ具体的なアンケート項目について、自己評価と同じ5段階で評価していただきました。

3. 学校関係者評価委員会は年間3回実施し、自己評価について評価・助言をいただきました。自己評価と同じ5段階で評価していただき、その平均値をもって評価ポイントといたしました。

その結果、次のようなまとめを行い、来年度の教育活動に活かすことにしました。（詳細は次頁）

領域	評価項目	自己評価	学校関係者評価（評価）
生徒指導	生徒育成 規律・品位	集団行動への意識を高く保てた。品位あるレベルを目指した指導を今後も継続し、具体的に丁寧な指導を実施していく。	先生と生徒の意識の違いはあるが、正確に評価出来ている。(4.45)
	安全教育 安全教育・健康	防災に加えコロナ対応にも注力した。心のケアも含めた安全な生活基盤づくりに努める。	前期の改善点に取り組み後期の評価を上げられた。(4.64)
人間性の育成	人間関係づくり 社会性	教員が連携し保護者と共に生徒のトラブル早期解決を図っている。生徒にも姉妹ピア活動により人間関係力を育てている。	早期発見・早期のきめ細かい対応を今後も期待します。(4.64)
	主体性の育成 公共心・学校行事・部活動	行事や姉妹ピア活動などを通して主体性を育てた。部活動は現状把握に努め、運営と指導の向上を今後も継続していく。	先生方の評価がやや低い要因を検討し、対応をお願いしたい。(4.55)
学習と進路	意欲向上 内発的動機・国際教育	海外研修はできなかったが静岡県グローバル研究校指定により新たな取り組みができた。	生徒の評価に「留学」を聞くのはそぐわないのでは。(3.91)
	学力向上 教科指導・学力向上	前期より後期に向上させることができた。観的データの数値目標も含め、生徒個別に分析し対策をとる体制が確立されてきている。	GTZ は上げられているが、合格率の値は妥当と考えているのか。(4.00)
	指導力向上 進学実績・教科課程・教員研修・ICT教育	数値目標を意識した指導をより進めることが出来た。ICT 端末の活用は各所で進んだが、授業中の活用をさらに進めていきたい。	ICT の活用は当たり前。さらなる活用への工夫を期待します。(4.18)
保護者・地域との連携	保護者・地域との連携 生徒育成・活動理解・広報	諸行事において教育活動を伝える頻度を増やし、またコロナ禍における PTA や諸行事のオンラインで配信など、出来る範囲で伝える工夫をしてきた。	保護者との連携には満足。西遠の魅力を地域に伝える新たな工夫に期待します。(4.55)

令和3年度 学校評価		建学の精神	婦人の中に未来の人は眠れり			
		校訓	典雅 莊重（強く 正しく 美しく）			
		教育目標	未来を拓く女性の育成			
領域	目 標	評 価 項 目	達 成 目 標	自己評価（5段階）		関係者 評価 （5段階）
				R2年度	R3年度	
生徒指導	Ⅰ 生徒育成	(1)規律	①【教員の判断】規則・時間を守り規律ある集団生活をおくる指導	4.24	4.19	
			②【生徒の判断】規則・時間を守り、規律ある集団生活をおくる	4.30	4.29	
		(2)品位	①【教員の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣いの指導	3.83	3.72	4.45
			②【生徒の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣い	4.34	4.26	
			①【教員の判断】適切な挨拶の指導	3.83	3.67	
			②【生徒の判断】相手や状況に応じた、適切な挨拶	4.09	4.20	
	Ⅱ 安全教育	(3)安全教育	①【教員の判断】安全・防災の意識の向上指導	3.93	3.83	4.64
			②【生徒の判断】非常時取る行動の理解	4.09	4.03	
人間性の育成	Ⅲ 人間関係づくり	(1)社会性	①【教員の判断】人間関係把握・適切な対処	4.15	4.19	4.64
			②【生徒の判断】互いに高め合い、前向きな問題解決	4.23	4.18	
			①【教員の判断】リーダーシップとフォロワーシップの育成	4.17	4.11	
			②【生徒の判断】姉妹ピア活動への積極的な参加	4.13	4.25	
	Ⅳ 主体性の育成	(2)公共心	①【教員の判断】姉妹掃除を含む校内美化の指導	4.12	4.00	4.55
			②【生徒の判断】校内美化を意識した掃除への取り組み	4.43	4.49	
		(3)学校行事	①【教員の判断】行事を通して21世紀型スキルを身に付させる指導	4.02	3.86	
			②【生徒の判断】行事を通した主体的な取り組みと成長	4.11	4.17	
		(4)部活動	①【教員の判断】部活動の目標を設定と適切な運営・指導	3.49	3.72	
			②【生徒の判断】部活動への目標をもった取り組み・成長	4.28	4.30	
学習と進路	Ⅴ 意欲向上	(1)意欲向上・内発的動機	①【教員の判断】将来を見据えた進路の研究と指導	3.93	3.89	3.91
			②【生徒の判断】自分の将来や進路について考える	4.23	4.16	
		(2)国際教育	①【教員の判断】国際社会への関心を持たせる働きかけ	3.85	4.17	
			②【生徒の判断】将来留学してみたい	3.21	3.29	
	Ⅵ 学力向上	(3)教科指導	①【教員の判断】基礎学力を向上させる指導	3.49	3.44	4.00
			②【生徒のデータ】学力診断合格率	3	2	
		(4)学力向上	①【教員の判断】学習意欲をもたせる指導	3.41	3.42	
			②【生徒のデータ】GTZ:B2以上の生徒の割合	2	3	
		(5)進学実績	①【教員の判断】数値目標を見据えた学習指導	3.51	3.56	
			②【生徒のデータ】GTZ:A以上の生徒の割合	2	3	
	Ⅶ 指導力向上	(6)教科課程	①【教員の判断】教科課程の振り返り・見直し・実践	3.95	3.67	4.18
			②【教員の判断】研修を通した指導力の向上	3.78	3.44	
		(8)ICT教育	①【教員の判断】ICT機器を活用した効率化した学習指導	4.24	3.86	
			②【生徒の判断】ICT機器の利用による理解の深まり	3.79	3.61	
保護者の連携・地域と	Ⅷ 保護者・地域連携	(1)生徒育成	①【教員の判断】生徒の成長のための保護者と学校の連携	3.95	3.83	4.55
			②【保護者の判断】学校と連携した教育への取り組み	3.68	3.94	
		(2)活動理解	①【教員の判断】保護者に教育活動を伝える取り組み	3.85	3.69	
			②【保護者の判断】学校・学年・クラスの教育活動理解	3.83	4.00	
		(3)地域連携	①【教員の判断】地域に、学校や生徒の取り組みを理解	2.63	3.08	